



会長あいさつ

農業委員会
会長 高久和司

明けましておめでとうございます。日頃より農業委員会の活動に対し、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、新型コロナウイルスの蔓延による外食産業の需要低迷やロシアのウクライナ侵攻に端を發した肥料・飼料の急激な高騰、さらには電気代・燃料代等の値上げなど農業者にとっては災害級の嵐が吹き荒れた激動の一年でした。今年こそは嵐がおさまり農業経営が安定することを切に願っております。さて、国では農業経営者の高齢化や少子化による農業者の減少を喫緊の課題として、農地の集約・集積化を進めています。

令和5年度までに集積率80%という目標を掲げましたが、目標達成が困難であるた

め、令和4年度に農業経営基盤強化促進法等の一部を改正し、担い手への集約化や将来の農地の効率化かつ総合的な使用に関する目標を地域ごとに定めた「地域計画」を令和6年度までに市町村が策定することを義務化し、更なる農地集積の推進を図っています。

計画策定にあたり、農地の10年後の集積・集約の目標を図示した「目標地図」を農業委員会で作成いたします。

作成にあたり、農地を所有している皆様に「貸したい」「借りたい」等の意向調査や話し合い等を実施いたしますのでご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、今年の7月で農業委員及び農地利用最適化推進委員が3年間の任期満了を迎えることとなります。

この3年間、農地法に基づく許認可や農地利用の最適化のため活動してまいりました。今後さらなる農業の発展に向けて、農業委員会一丸となつて業務に取り組んでまいります。

結びになりますが、今年の干支は癸卯（みずのと・う）です。「停滞した世の中に希望が芽吹き、花開く助走の年」になるとされています。本年が皆様にとりまして、希望が芽吹く一年になることを心から祈念し、新年のごあいさつといたします。



10月4日要望活動時の様子。農業委員会は会長を含む三役と事務局長が平山町長へ要望事項を伝えました。

令和5年度 町農地等利用最適化推進に関する意見 及び町農業等施策並び に予算に関する要望 及び町からの回答

農業委員会では、「令和5年度町農地等利用最適化推進に関する意見及び町農業等施策並びに予算に関する要望」をまとめ、10月4日に平山町長へ要望書を提出し、11月21日に町から回答がありました。

要望、回答の概要は、次のとおりです。

黒…要望 緑…回答